

試合番号 : 405		試合会場 : 大田区総合体育館				観客数 : 791						
開始時間 : 17:05		終了時間 : 18:33		試合時間 : 01:28		主審 : 津島 由香		副審 : 明井 寿枝				
NECレッドロケッツ		通算	12 勝	4 敗	25	第1セット	10	トヨタ車体クインシーズ		通算	2 勝	18 敗
			ポイント : 34								ポイント : 7	
監督コメント	本日もこのような感染状況の中、会場に足を運んでいただき、また画面越しでも応援いただきありがとうございます。				3	25	第2セット	18	0	監督コメント	まずはホームで勝利を取ったNECレッドロケッツにおめでとうを申し上げます。一日で立て直し、厳しい状態になっても常に高め続けてきたNECのスパイクカー陣が素晴らしく、積極的な対応が運んでしまい、ビハインドを覆すことが出来ませんでした。一つ一つのプレーをしっかりと見つめ直し、この試合の経験を次戦に活かします。二日間に渡っての運営、足を運んで下さった皆さんに心より感謝をお伝えしたいと思います。	
	昨日の悔しい敗戦からデータを通じて修正してきたのももちろんですが、一番は自分達が積み上げてきたアグレッシブなバレー、オフェンスを押し倒していくバレーというものを発揮することにフォーカスして戦いました。					26	第3セット	24			どうもありがとうございました。	
	レシーブで耐え、スパイクだけでなくサーブやブロックでもアグレッシブにポイントを獲得していくNECのバレーというものを終盤に向けてより良くしていきたいと思っております。						第4セット					
	二日間、クルーの皆さんの前でバレーボールができる喜びをとても感じました。当たり前ではないこの環境に感謝し、次の試合に向けて準備していきたいと思っております。						第5セット					
要約レポート												
ホームゲームをなんとしても勝利で飾り今後に繋げたいNECレッドロケッツに対し、昨日今季2勝目を上げ波に乗るトヨタ車体クインシーズの戦い。第1セット、昨日とは打って変わり安定したサーブレシーブから攻撃したNECは、序盤から主導権を握った。その後もトヨタ車体を全く寄せ付けず、NEC古賀のスパイクがひかり、大量リードのまま、このセットを先手した。第2セット、序盤からリードを奪ったのはNECであったが、トヨタ車体も離されまいとハッタヤの移動攻撃、ケルシーの強打と反撃するが、中盤に入りリズムを掴んだNECが徐々にリードを広げた。その後もリードを保ったまま、最後はNEC島村のセンターからの攻撃でこのセットを手に入れた。第3セット、序盤は一進一退のシーソーゲームとなる。中盤に入りNECは司令塔を澤田に代えリードを奪った。終盤NECはデュースにまで追い込まれたが最後は山田のアタックが決まり、ホームゲームを勝利で飾ることができた。												

試合番号 : 410		試合会場 : ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)				観客数 : 0						
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:56		試合時間 : 01:56		主審 : 岡田崇		副審 : 原啓之				
日立Astemoリヴァーレ		通算	7 勝	13 敗	25	第1セット	20	PFUブルーキャッツ		通算	11 勝	8 敗
			ポイント : 21								ポイント : 32	
監督コメント	昨日の敗戦をしっかりと反省し、切り替えて今日の試合に入りました。第1セットは対策通りセットを取ることが出来ましたが、第2セットの前半に崩れてしまい、第3、4セット立て直し、食らいつきましたが敗れてしまいました。				1	14	第2セット	25	3	監督コメント	日立さんの力強いスパイクに圧倒されるケースが多かったが、自チームのやるべきことに集中して勝つことが出来ました。	
	まだまだ弱さがあると改めて感じた試合だったので、残りの試合でリベンジできるように次戦まで2週間空きますが、大事なこの期間を無駄にせずしっかりと練習していきます。					22	第3セット	25			来週は初の試みとなる紫波町でのホームゲームなので、良い戦いが出来るようにしっかりと準備をしたいと思います。	
	今日は応援ありがとうございます。					24	第4セット	26			本日も画面越しに応援してくださった皆様、ありがとうございました。	
	成長した姿をお見せできるように頑張りますので、引き続きよろしくお願いたします。						第5セット					
要約レポート												
第1セット、中盤まで一進一退の攻防が繰り返される中、日立Astemoリヴァーレは途中交代の野中のブロックや上坂のスパイクなどで、徐々にPFUブルーキャッツを引き離し、最後は長内のスパイクが決まり第1セットを先取した。第2セットは序盤からPFUがジャンのブロックやバルデスのバックアタック等で13-4とリードする。その後も着実に得点を重ねたPFUが25-14でセットを奪い返した。第3セット、サイドアウトを繰り返しながら両者譲らない展開となったが、終盤、PFUが鍋谷のスパイク等で連続得点をし、25-22でこのセットを制した。第4セット、終盤まで一進一退の攻防が続く。PFUが先にマッチポイントを抑えるも、日立はタツブのブロックポイントでデュースに持ち込んだが、最後は日立のスパイクがアウトになり、PFUが2連勝を飾った。												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	- 勝	- 敗		第1セット			通算	- 勝	- 敗	
			ポイント :							ポイント :		
監督コメント						第2セット						
						第3セット						
						第4セット						
						第5セット						
要約レポート												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	- 勝	- 敗		第1セット			通算	- 勝	- 敗	
			ポイント :							ポイント :		
監督コメント						第2セット						
						第3セット						
						第4セット						
						第5セット						
要約レポート												